

こんにちは。アメリカに来てからもう2カ月が経とうとしています。新しい経験をたくさんしながらも、現地での生活に大分慣れてきました。私がホームステイしているウィスコンシン州は寒くなり始めて、昨日は雪が降っていました。これからどんどん寒くなっていて-20℃くらいになるときもあるそうです。そのため外でのアクティビティは寒くなる前に、ということで週末は色々なところに遊びに行っています。それについては多くなりそうなので、別の報告書で書くつもりです。今回の報告書では、アメリカで過ごしている中で面白いと思ったことを書いてみようと思います。

まず、私の通う学校はカトリック系なので、毎日授業の前にお祈りの時間があったり毎週水曜日はミサが学校で行われたりなど、キリスト教の色が強いです。各学年で宗教の授業が必修となっており（私の学年は旧約聖書の授業が必修です）、また他の授業でもキリスト教の教えや逸話が登場することもあります。しかし、生徒や教員全員がキリスト教徒というわけではありませんし、それも当たり前だと考えているというように感じました。例を挙げてみます。世界史の授業で *prehistoric civilization* というキリスト以前の歴史における文明生活について、そのような文明は存在したか、自分の仮説の小論文を書くという課題がありました。年代でいえば約3000年前までの文明についてですが、どうしてこのような課題が出たかということ、キリスト教では神が世界（地球や人）をつくったとされているからです。そのため、それ以前の様々な史料についての自分の考えを書くという課題が出されました。しかし、その教えを信じても信じなくても、根拠をもって自分の考えを述べれば、その考えをそれぞれのものとして受け入れられていました。日本での授業では、宗教が関わってくることはあまりないし、またそれについてどう思うか自分次第だということが新鮮でした。アメリカの1つの文化に触れるきっかけになりました。

次に、今週行われたホームカミングもとても楽しい行事でした。毎日服装のテーマが決められて、それに沿ったコスチュームで学校に来たり、授業前にスポーツをしたり、土曜日にはダンスがあったりなど、アメリカの高校の秋の最大の行事でした。ダンスではドレスアップして体育館で流れる音楽と3時間くらい踊るという、日本では考えられない機会でしたが、普段の授業の友達以外とも話すことができたので、本当に楽しかったです。またそれぞれの学年の廊下が衣装テーマで飾り付けられ、そこでは日本の文化祭のような雰囲気もありました。木曜日にはアメリカンフットボールの試合が行われて、そこでは私の参加しているバンドが演奏する機会がありました。ホームカミングウィークを通して、生徒も先生も、学校の全員が楽しむ雰囲気があって魅力的だと思いました。

この2カ月は本当にあっという間で、大変なことも多かったです。それが吹き飛ばくらい新しく楽しい経験をすることができました。留学前には自信があった英語も他の留学生と比べて落ち込んだ時もあったし、周りに友達がいない状態での授業が辛かったりしたけれど、その時に助けを求めることが上手く出来るようになったと思います。これからの時間も、後悔ができるだけ少ないように、色々なことを経験したいです。

白鷗高校 16 期生 次世代リーダー育成道場第 11 期生 A・Y